

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスオハナ			
○保護者評価実施期間	2025/12/1		～	2026/1/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2026/1/10		～	2026/2/10
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	社員、事業所カンファレンスで共有	(回答者数)	社員、事業所カンファレンスで共有
○事業者向け自己評価表作成日	2026/2/26			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者、保護者に寄り添った支援	入浴希望の方は基本的に入浴支援をしている。保護者の仕事の都合やご兄弟の行事などで受け入れ、送迎時間の調整など可能な限り受けている。	寄り添った支援だけでなく安心できるような支援にも努めていく。そのために避難訓練の様子やマニュアルの周知、安全対策の向上に励んでいく。またヒヤリハットを起きないよう起きたことは共有し、再発防止に努めていく
2	個々の利用者で支援	個々の利用者で支援方法を変えたり介助している。また訓練機関や学校等に連絡を取り食事の様子や訓練の様子を見学させて頂いている。またレクリエーション時には統一支援方法でレクリエーションするのではなくできることに着目しなるべく活かせるよう成功体験を増やしていけるよう支援している	職員に共有し、同じ支援ができるよう情報共有を徹底する。
3	看護師を義務配置より可能な限り多く配置している	医療的ケア処置、通学支援、緊急時、送迎等に対応できるよう可能な限り多く配置しています。	今後も同じ支援ができるよう人員配置に努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	おでかけイベントの少なさ	重症心身障がい児の利用児が主のため発作や体調等考えると中々難しかった。また食事面でも様々な形態の利用児がいっしょするためミキサー持参にも協力していただける飲食店や施設を見つけるのが難しい。	まずは近隣地域で行けるところを探しおでかけしてみる。昨年度は川越や市内のイベントに参加できたので少し遠出できるよう徐々に伸ばしていく。
2	家族型のイベントが少ない	元々利用児の保護者に向けてのイベントも不規則な茶話会のみだったため、家族向けのイベント(兄弟参加等)に着目出来なかった。	茶話会も年1回は開催できるようになってきたため今後は家族参加型のイベントもやっていきたい。人員配置やイベント内容、場所等検討していく必要があるのでカンファレンスで話し合っていきたい
3	ホームページの活用	インスタを中心にイベントや施設内の様子をお伝えしているのでホームページをあまり活用していない。また他にもSNSあるが活用していない。インスタを行っているので発信はできているかという考えも要因だと考える。	不定期でもまずは投稿から始めていく。日々の業務の中に取り入れる。また保護者の方に周知する。